
オリ主達の有川な日常

Clock.45

暁～小説投稿サイト～ By 肥前のポチ

<http://www.akatsuki-novels.com/>

注意事項

このPDFファイルは「暁く小説投稿サイトく」で掲載中の小説を「暁く小説投稿サイトく」のシステムが自動的にPDF化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「暁く小説投稿サイトく」を運営する肥前のポチに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オリ主達の有川な日常

【作者名】

C l o c k . 4 5

【あらすじ】

オリ主たちが有川作品で活躍したら…という作者の妄想からできた作品です。

図書館戦争、空の中、海の底などを舞台にしようと思ってます。

郁や柴崎、手塚がまだ図書士長だった頃、武蔵野第一図書館ではある事件が起きていた。

「痴漢？」

「そう、痴漢」

正午の昼休み、柴崎と来た隊員食堂はいつも通りコミケ会場の様に人口密度が高かった。

その時、郁と柴崎の会話の話題となったのは、最近女子の間で話題となっている事件、「痴漢」についてだった。

「一昨日、業務部の花田が40歳くらいのおじさんにお尻をさすられたんだって。部隊に相談きてない？」

部隊とは、郁の所属するタスクフォース図書特殊部隊のことである。

「いや、来てないと思う…多分」

記憶力には自信が無いので曖昧な返事しかできない。図書隊司令の事を「おじさん」と言ってしまう程に。

柴崎はにやっと笑い、

「あれえ、堂上教官は知ってたけど。小牧教官も手塚も。まさかあなただけ仲間はずれ？皆で話したらしかったけどお？」

とあからさまにからかう口調で言葉を吐いて来た。

付き合っていると時間がいくらあっても足りないので、早々に話を変える。

「業務部での対策案は？」

「警備の強化かな。でも特殊部隊にはあんた一人しか女子がないから、東大和から女性の特殊部隊員を呼び寄せるって」

東大和とは、東京都の東大和市にある東大和図書館に所属する図書特殊部隊、「デルタフォース」の事だ。名前の由来は東大和図書館の館の形かららしい。

「そうかあ…女性の特殊部隊員かあ…」

女性特殊部隊員にはまだ会ったことが一度も無い。どんな人なんだろうなあ、と想像するだけで頭が一杯になる。

そんな郁の顔を見たのか、柴崎は苦笑しながら、

「まだ期待しないでね。決定事項じゃないから」

と告げた。

「ああ、早く会いたいなあ」

と、郁が呟いた時、柴崎の肩に手が掛けられた。

後ろを振り向くと、図書隊の制服に身を包んだ女性が二人居た。

手を掛けた方は背が高いと言われている郁の身長を軽々と越す身長に、郁は「いいなあ！」と知っているに違いない巨乳が存在感を示している。

後ろに立っている方は郁より少し低い身長、胸はちょっと大きめといった身体。耳には薄いグリーンのお眼鏡を掛けている。

両方とも腰にはホルスターを装着しており、中には拳銃が入っている。一目で分かる。戦闘職種の間人だ。しかし、このような人物は武蔵野にはいない。

「あの、どなたで？」

柴崎が困ったように話しかけた。

郁も誰だろうと期待の表情を顔に浮かべて面を上げる。

両方とも敬礼をし、笑顔で答えた。

「本日より武蔵野第一図書館に着任する、青葉楓図書士長です!!」

「及び、真希野涼風士長です」

「え…」

郁の面が凍りつく。まさか会いたと思っていた相手がここに居るとは思ってもいなかったからだ。

「笠原士長と柴崎士長ですね？始めまして」

「はあ…?」

柴崎はこちらこそ、と返していたが、混乱した郁の頭には何が何なのか理解できなかった。

.....

「痴漢かあ…」

△タスクフォースV隊長である玄田三等図書監に着任の挨拶を済ませ、入居する寮に向かう途中。

「デリケートな問題だからねえ」

男性は不介入じゃないと、と真希野。

「△デルタ△に戻るまで1年半。頑張るかあ…」

「今頃皆、何やってるんだろうな」

真希野が遠くを見るように目を細める。

「大丈夫。あの人達ならやれる」

安心したように真希野に微笑みかけた。△デルタ△は皆信用できる上官ばかりだ。

真希野も笑みを浮かべ、こくりとうなづいた。

主人公・sの紹介

図書館戦争・partの主人公達

青葉楓（あおば かえで）

24歳 176cm 63kg

東大和図書館特殊部隊△デルタフォース▽所属の狙撃手。階級は図書士長。愛銃はAMP社のDSR-1と、ベレッタのpx4ストーム。

高身長で抜群のボディを持ちながらも身体能力は高く、女性ながらも図書特殊部隊に選抜された。ポジティブな性格だが、落胆するとテンションを戻すのに一苦労する。身長と胸の大きさがコンプレックスらしい。

真希野涼風（まきの すずか）

24歳 168cm 51kg

東大和図書館特殊部隊△デルタフォース▽所属のスポッター。有事の際は楓とペアを組み、狙撃をサポートする。階級は図書士長。愛銃は89式小銃と、SIG220短銃。

薄いグリーンの眼鏡を掛けた女性隊員。大人しめな性格ながらも身体能力は高く、格闘能力は楓よりも高い。また、楓以上に胸が大きく、楓以上にコンプレックスを抱えている。

空の中・partの主人公達

新島芽衣（にいじま めい）

26歳 171cm 59kg

航空自衛隊新田原基地第204航空隊F-2SB入スタンダードヴァイパー▽パイロット。階級は二等空尉。コールサインはハクローバー1▽。

△白鯨▽出現時に新田原からスクランブルしたF-2の搭乗員の一人。現場空域に到達する直前に事件が起きたため難を逃れた。

黒田鏡花（くろだ きょうか）

26歳 159cm 47kg

航空自衛隊新田原基地第204航空隊F-2SB戦術航空士兼コパイロット。階級は二等空尉。

△白鯨▽出現時に新田原からスクランブルしたF-2搭乗員の一人。

新島のペアとして同行した。

北条仁志 (ほうじょう ひとし)

34歳 184cm 86kg

航空自衛隊新田原基地第207航空隊F-4EJ改パイロット。階級は三等空佐。コールサインは△フラッグー1▽

△白鯨▽出現時に新田原からスクランブルした部隊の一人。

齋木早人 (さいき はやと)

36歳 179cm 80kg

航空自衛隊新田原基地第207航空隊戦術航空士。階級は一等空尉。

△白鯨▽出現時に新田原からスクランブルした部隊の一人。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
http://www.akatsuki-novels.com/stories/index/novel_id~13521

オリ主達の有川な日常

2015年07月09日 22時58分発行